

ニューズレター雪氷北信越

No.34 平成5年11月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第3回理事・幹事会合同会議報告／見学会・学習会報告／社団法人日本雪氷学会設立記念パーティーの案内／講演会・学習会の案内／研究会の案内／その他

報告

平成5年度第3回理事・幹事会合同会議報告

平成5年11月5日（金）15時40分より、長岡技術科学大学機械系会議室において、本年度第3回理事・幹事会合同会議が開催された。梅村支部長の挨拶に始まり、前回の理事・幹事会合同会議議事録が確認された。つづいて、遠藤幹事長から雪氷学会の社団法人化にともなう本支部の財務・会計・監査についての説明が行われた。次に、本支部の今年度の活動の中間報告が行われた。とくに、長野地区の学習会等の活動については、平成6年1月あるいは2月の開催を目標に新潟地区等の理・幹事の協力のもと計画を進めることとなった。最後に、来年度の雪氷学会全国大会の開催地が金沢に決まったことが遠藤幹事長より報告があり、同大会実行委員長を高瀬副支部長（金沢大学）にお願いすることが本合同会議において決まった。

講演会

富山地区講演会のお知らせ

リモートセンシングによる積雪観測

「合成開口レーダーについて」 石森繁樹（富山商船高専）

「合成開口レーダーによる積雪観測」上林徳久（とやまの雪研究会）

日時 11月27日（土） 14：00～16：00

場所 富山市科学文化センター

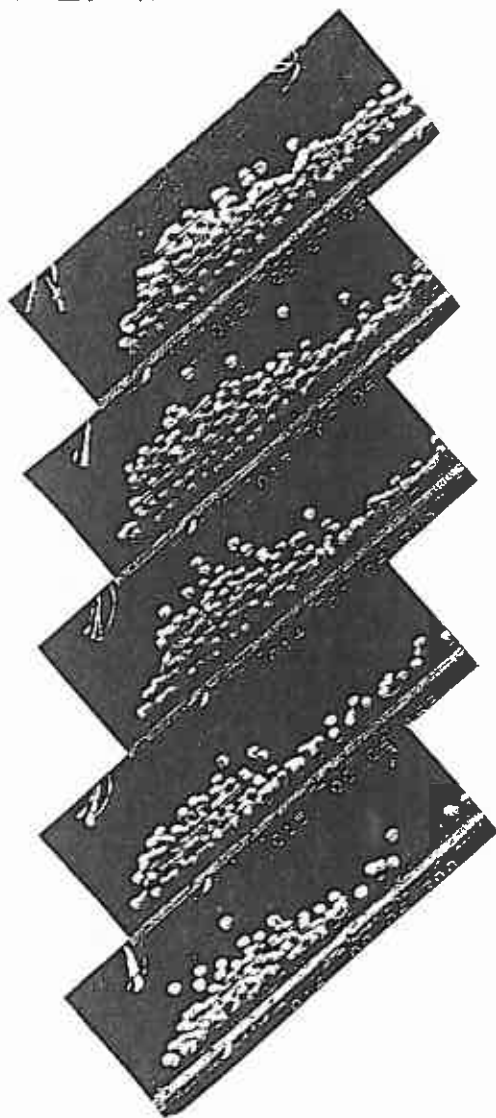
衛星に搭載されたレーダーの画像情報（ERS-1・CHA'NT'SAR）から、富山県の積雪のようすをさぐる試みについて、その原理と実際、地上観測との照合の結果などについての講演です。

問い合わせ先：対馬（富山大学 TEL.0764-41-1271）

石坂（富山市科学文化センター TEL.0764-91-2123）

十日町ピンポン球なだれ実験
見学会の報告

9月21日ピンポン球数千個によるピンポン球なだれ実験の見学会が森林総合研究所十日町試験地で行われました。ピンポン球なだれは同試験地の傾斜40度の斜面上に仮設された木製の雪樋を利用したシュート（幅40cm、長さ18m）上を秒速10メートルの速さで、下で待ち受けている命知らずの見学者32名に襲いかかりましたが、幸いけが人はでませんでした。実験のあと、新庄雪氷防災実験研究所で行われた世界で初めてのピンポン球なだれのビデオの上映が行われました。



世界で2番目のピンポン球なだれ実験（1993年9月21日森林総研十日町試験地）上からピンポン球の数を3000個、1300個、600個、200個、100個と変えていったときのなだれ先端部の様子を示している。ピンポン球なだれでは常に先端が塊となるのに対して、末尾は落ちこぼれとなって伸びていく。落ちこぼれは復活できるのか？

（納口記）

案 内

社団法人日本雪氷学会設立記念パーティーのご案内

日本雪氷学会は、昭和14年に「日本雪氷協会」として発足、昭和30年には「日本雪氷学会」と改称し、雪と氷に関する基礎から応用分野にいたる研究の発展に大きな役割を果たしてまいりました。現在では、正会員数は1100名に達し、名実ともに日本を代表する雪氷研究の学術団体として重きをなしております。

こうした実績が評価され、関係各位、会員諸氏の御尽力、御協力を得て、去る8月4日、日本雪氷学会は文部省所管の社団法人として設立されました。社団法人化は長年の念願でありました。北信越支部所属の会員の皆様にご報告申し上げますとともに、長い間にわたって戴いたご支援に感謝申し上げます。

つきましては、下記のように記念パーティーが企画されております。皆様のご出席、ご協力をお願い申し上げます。

日 時：平成5年11月15日（月）16:00～18:00

場 所：飯田橋会館（飯田橋駅西口より1分）

東京都千代田区富士見2-10-36

電話03-3265-6021

会 費：本部理事および監事 ……出欠のいかんにかかわらず¥15,000
評議員、会員 ……¥10,000

申し込み：学会本部事務局まで

（中村勉 支部理事 記）

学習会

富山地区第1回学習会「中国東北部の道路雪害」の報告

文部省国際学術研究（研究代表者 小林俊一教授）の一環として来日された中国黒龍江省交通関係省庁の3名を招いて、9月11日（土）10時～12時、富山大学で開かれました。はじめに、石坂が黒龍江省の冬の様子をビデオをまじえて紹介した後、中国側を代表して楽 鵬飛氏から、中国東北部の気候や凍土の状況、地下水が地表にでて凍りつく延流水の実体とその被害、さらにはいくつかの対策工法についての報告を聞きました。20名ほどの参加者は、日本の冬とは違う雪氷害に興味と驚きを持って聞きました。

（石坂幹事 記）

学 習 会

富山地区第2回学習会「湖水の科学」の報告

富山大学の集中講義で来られた東海林明雄氏（北海道教育大）にお願いして、湖の水の話をしていただきました。学習会は、10月7日（木）18:00～20:00富山大学理学部3番教室で行われました。釧路という地域の特徴に始まり、しぶき氷、チンダル像、御神渡り、氷紋と、美しい写真をまじえながらの話は、われわれ暖かい雪国に住む者にとっては、珍しくまた興味深いものでした。参加者は14名でした。

（石坂幹事 記）

学 習 会	金 沢 地 区 学 習 会 の お 知 ら せ
話 題	「積雪内の融雪水の不飽和鉛直浸透現象」
講 師	石川工業高等専門学校・教授 畑 時男先生
日 時	12月13日(月) 13:30～15:30
場 所	金沢大学工学部 秀峰会館小会議室
内 容	融雪流出の遅れや積雪層内の溶質の移動に関連して重要な過程である積雪層内の融雪水の浸透現象に関して、不飽和鉛直浸透現象を中心に、理論と実際について講演されます。
問い合わせ先	宇治橋康行(金沢大学工学部) TEL.0762-61-2101(内線231) FAX 0762-61-2159

学 習 会	新 潟 地 区 学 習 会 の お 知 ら せ
日 時	12月22日(水) 16時00分～17時30分
場 所	北陸農業試験場 上越市稲田1丁目2-1 (TEL 0255-23-4131) 信越本線高田駅下車 バス番町、岡田又はリージョンプラザ行 稲田2丁目下車
話 題	「東ヒマラヤ ナムチャバルワ峰の雪氷特性」 飯田肇会員(黒部市吉田科学館)は、先般、東部ヒマラヤで気象、雪氷観測に従事されました。そこで今回はその結果を立山でのそれと比較しながらご紹介して頂くことにしました。大勢の皆様のお参加をお待ちしています。
連絡先	北陸農業試験場 地域基盤研究部 気象資源研究室 高 見 晋 一 TEL 0255-23-4131

そ の 他	『ニューズレター雪氷北信越』について
ニューズレターに関するお問い合わせは 長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市	TEL.0258-35-7522 FAX.0258-35-0020
までお願いします。	

案 内

雪氷防災研究会及び雪氷防災研究連絡会の開催について

長岡雪氷防災実験研究所は富山県との共催で、第18回雪氷防災研究会及び第7回雪氷防災研究連絡会を開催いたします。研究会のテーマは「酸性雪とその影響」で、北信越地方を中心に、地球規模の話題も含めて、その実態と影響について講師の方々にお話いただきます。今年は研究連絡会も同じ日に行います。4機関の方に主な研究成果や計画を発表していただき、その他の機関については主催者側でとりまとめてご紹介いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成5年12月1日（水）10：15～17：00

会 場：C I C（シック）ビル5階

多目的ホール「いきいきKAN」（富山駅前）

◎第18回雪氷防災研究会「酸性雪とその影響」（10:15～16:00）

(1)日本海側の降雪の仕組み

長岡雪氷防災実験研究所 岩波 越

(2)硫酸イオン降下量と気象条件

農業環境技術研究所 江口 卓、袴田 共之、鶴田 治雄

(3)酸性雪の現状と雪結晶酸性化の機構

富山大学理学部 対馬 勝年

（昼食：12:25～13:30）

(4)森林における酸性雪の実態

富山県林業技術センター 安田 洋

(5)融雪水の酸性化現象とその生態系への影響

東京都立大学理学部 鈴木 啓助

（休憩：14:50～15:00）

(6)雪氷コア分析による地球規模の酸性物質挙動の解明

長岡雪氷防災実験研究所 東 久美子

◎第7回雪氷防災研究連絡会（16:00～17:00）

雪氷防災研究の現状と動向

金沢大学、北陸農業試験場、土木研究所新潟試験所、富山県
その他の機関

連絡会終了後、懇親会も計画しております。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

長岡雪氷防災実験研究所 山田 穰・岩波 越

〒940 長岡市栖吉町前山187-16

TEL：(0258)35-7522、FAX：(0258)35-0020

主催者 科学技術庁 防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所
富 山 県

案 内

平成5年度福井県雪に備える行事(12.1~7)のご案内

福井の雪と雪技術を語る

近年暖冬化傾向ではあっても、雪問題は今もって不安があり、今後実質的に何が問題でどのような技術上の解決をはかる必要があるか。最近の取り組みを紹介し討論を行う。

- 主 催 福井県雪対策技術センター／福井雪害対策研究会／
福井県雪技術研究会
期 日 平成5年12月7日(火) 13:00~16:00
場 所 福井県民会館7階大会議室
福井市大手3丁目11-17
内 容 司 会 福井大学工学部環境設計工学科助教授 福原輝幸氏
発言者 官公庁技術担当者および地下水の専門家を予定

福井の雪技術パネル展

- 期 日 平成5年12月1日~7日(土、日は除く)
場 所 福井県庁県民ホール(県庁1階)
福井市大手3丁目7-1
内 容 セット化融雪、積雪センサー、PIP融雪、他
○連絡先 〒910 福井市春日3丁目303
福井県雪対策技術センター 杉森正義
TEL 0776-35-2412

季節のことば

小春日和和

外国語で小春日和に相当する表現としては次のようなものがあります。

アメリカ: Indian summer

ドイツ: Altweibersommer(老婦人の夏)

ロシア: бабье лето (婦人の夏)

イギリス: St. Luke's summer = 聖ルカ祭(10月18日)の頃の秋晴れ

All Saints' summer = 万聖節(11月1日)の頃の秋晴れ

St. Martin's summer = 聖マルティヌス祭(11月11日)

の頃の秋晴れ

日本では「春」の文字が、又、外国では「夏」の文字が使われているのが特徴的です。

なお、日本でも沖縄では「小春日和」を「小夏日和」と呼ぶそうです。

* 引用文献: 世界大百科辞典(平凡社), お天気衛星(丸善)

(小林幹事 記)